

自治研での活動紹介・・・生活困窮者自立支援政策研究会

自治研では、2014年の12月に生活困窮者支援の政策研究会を立ち上げ、様々な活動を行ってきました。主な活動は、先進自治体の取組みの学習・視察や事例の検証を丁寧に行ってきました。そして、当事者にとって、どのような支援が求められるかの議論を積み重ねながら活動を行っています。

事例の検証は、市民セミナーの開催や行政・関係機関の方たちとの意見交換会、交流会などを随時行いながら、中身を広げています。

また、他市のモデル的な子ども・若者支援事業を行っているところへの視察や貧困状況にある若者たちとの意見交換、イベントなども行ってきました。

これらの地道な活動が、これからの八王子のまちづくりに活かせるように、様々な発信が出来ればと思います。

今後も皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

【研究会の開催目的】

「子どもの貧困?」「若者の貧困?」と問われても、「どのような状況なのか」、また「どのような支援が必要なのか」については、理解不足や支援に向けた議論が不足しています。

国の施策は、第二のセーフティネットとして「生活困窮者自立支援法(2013年12月)」が成立し、子ども・若者の領域の含めた施策として2015年度4月から施行されました。しかし、どのように取り組んでいくかは、各自治体の裁量に任されているのが現状です。

この研究会では、当面は子ども・若者を中心に、生活困窮者の現状と支援について、研究者や行政職員、支援現場の職員が集まり、事例を検証しながら、どのような支援やネットワークが必要か研究を行い、具体的な政策提言を行っていくことを目的に活動を行います。

【活動内容】

この研究会では、第1に「研究者・現場の職員を中心とした政策会議」の開催、第2に「行政・現場職員・関係団体・当事者の方たちと事例検討会」の開催、第3に貧困に苦しむ若者を含めて当事者たちと協働で居場所づくりやホームページなどでの発信活動を行っていきます。

また、必要に応じて、視察調査・学習会・市民セミナーなどの活動を行うとともに市に対して政策提言などを行っていきます。



日本大学井上教授研究室で政策研究会議

【研究会の主要なメンバー】

井上 仁さん日本大学教授・八王子市社会福祉審議会
会児童福祉専門分科会会長**鶴田 咲良さん**八王子市地域生活安定化事業
地域生活支援員**前田 信一さん**

こども教育宝仙大学非常勤講師

入倉 俊昭さん

東京都児童相談所

事務局：佐藤 千恵子

八王子自治研究センター事務局長

テーマ別参加者

関係機関、子ども・若者、行政、市民



自治研センターで、市民セミナーを開催

【2015年度の主な活動】



自治研センターで、若者たちとイベントの開催



自治研センターで、事例検討会を開催



金沢市児童相談所を視察



児童養護施設「一陽」(越前市内)を視察